



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日

上場会社名 日本化学産業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4094 URL <https://www.nihonkagakusangyo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤英二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部 (氏名) 百瀬 譲 (TEL) 03-3873-9223  
 総務部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,800	23.1	1,232	11.4	1,399	14.8	962	14.0
2022年3月期第1四半期	5,522	17.8	1,106	89.9	1,218	79.0	844	71.3

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 381百万円(△30.1%) 2022年3月期第1四半期 545百万円(△50.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	48.78	—
2022年3月期第1四半期	42.30	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	49,695	42,031	84.6
2022年3月期	49,487	41,973	84.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 42,031百万円 2022年3月期 41,973百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 投資者が通期業績を見通す際に有用と思われる情報

2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,330	19.4	1,560	△21.9	1,680	△21.3	1,170	△23.5	58.93
通期	26,670	12.5	3,300	△21.9	3,540	△21.5	2,440	△24.6	122.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	20,680,000株	2022年3月期	20,680,000株
2023年3月期1Q	949,396株	2022年3月期	949,396株
2023年3月期1Q	19,730,604株	2022年3月期1Q	19,959,528株

注) 期末自己株式数には、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式(2023年3月期第1四半期82,345株、2022年3月期82,345株)が含まれております。また、「株式会社日本カストディ銀行(役員向け株式交付信託)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染者減少により、経済活動は正常化しつつありましたが、感染者数が下げ止まり、いまだその収束の目途は立っておりません。また、世界的な半導体不足の長期化や中国の都市封鎖等による中国経済の減速に加え、ロシアのウクライナ侵攻という地政学的リスクによるエネルギーや資源価格の高騰もあり、足元でのコロナ感染者急上昇も相まって先行きについては更に不透明な状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは事業活動に支障が出ないように新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底するとともに、従前からの課題である新製品・新規用途開発品の早期の実績化及び新規ユーザーの開拓を目指すとともに、既存製品の販売・生産数量を確保・拡大することに取り組んでまいりました。また、薬品部門でのリサイクル原料の活用・拡大によるコスト・経費の引き下げを図り、会社全体で更なるITを活用した業務の効率化や生産拠点及び生産工程の最適化等の生産性向上により価格競争力の向上を図るといった低コスト体質の強化にも引き続き取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループ全体の売上高は前年同四半期比1,278百万円 23.1%増の6,800百万円、営業利益は前年同四半期比125百万円 11.4%増の1,232百万円、経常利益は前年同四半期比180百万円 14.8%増の1,399百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比118百万円 14.0%増の962百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりとなります。

#### ① 薬品事業

主力の薬品事業は、既存製商品の販売数量が取引先の在庫調整等もあり伸び悩んだものの、非鉄金属相場が高止まり、それに連動する販売単価が前年同四半期に比べて上昇したことに加え、新たに埼玉工場での二次電池用正極材受託加工が開始されたこと等により、売上高は前年同四半期比1,242百万円 26.9%増の5,858百万円となりました。

利益面では、原材料や部材価格の高騰等もあり、営業利益は前年同四半期比160百万円 15.6%増の1,190百万円となりました。

#### ② 建材事業

建材事業は、主力の住宅建材製品が堅調に推移したこともあり、売上高は前年同四半期比35百万円 4.0%増の941百万円となりましたが、鋼材価格高騰の影響を大きく受け、営業利益は前年同四半期比17百万円 6.8%減の235百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における流動資産は、現金及び預金、売上債権、棚卸資産が増加したことにより、前連結会計年度末比1,434百万円増の31,336百万円となりました。一方、固定資産は、有形固定資産が機械及び装置等の減価償却が進んだことにより前連結会計年度末比66百万円減の7,284百万円となり、保有株式の株価が下落したこと等により、投資その他の資産が前連結会計年度末比1,152百万円減の10,921百万円となったことにより、前連結会計年度末比1,226百万円減の18,358百万円となりました。この結果、総資産は前連結会計年度末比207百万円増の49,695百万円となりました。一方、流動負債は未払法人税等が減少したものの、仕入債務等が増加したことにより、前連結会計年度末比455百万円増の6,164百万円となり、固定負債がその他有価証券評価差額金減少に伴う繰延税金負債の減少により前連結会計年度末比306百万円減の1,499百万円となったことから、負債合計では前連結会計年度末比149百万円増の7,663百万円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比58百万円増の42,031百万円となり、その結果、自己資本比率は前連結会計年度末の84.8%から84.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期業績は前述のように、第2四半期業績予想に対して比較的堅調に推移しましたが、足元の事業環境が徐々に厳しくなってきていること等を勘案し、第2四半期連結累計期間・通期ともに2022年5月13日公表の業績予想を据え置いております。尚、今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	16,986,949	17,390,381
受取手形及び売掛金	7,663,838	8,042,903
電子記録債権	621,145	598,064
商品及び製品	1,677,886	1,988,983
仕掛品	1,214,952	1,569,480
原材料及び貯蔵品	1,675,852	1,658,309
その他	63,488	90,040
貸倒引当金	△1,620	△1,490
流動資産合計	29,902,493	31,336,673
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	2,181,628	2,100,489
その他(純額)	5,169,760	5,184,376
有形固定資産合計	7,351,388	7,284,866
無形固定資産		
	160,119	153,008
投資その他の資産		
投資有価証券	8,839,132	7,755,325
繰延税金資産	1,263	11,321
その他	3,235,096	3,155,974
貸倒引当金	△1,570	△1,570
投資その他の資産合計	12,073,922	10,921,051
固定資産合計	19,585,430	18,358,926
資産合計	49,487,923	49,695,599
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,702,064	3,079,644
電子記録債務	424,706	449,425
短期借入金	373,800	616,800
未払法人税等	920,305	449,970
賞与引当金	495,000	242,500
役員賞与引当金	40,000	10,000
その他	753,710	1,316,465
流動負債合計	5,709,586	6,164,806
固定負債		
繰延税金負債	1,352,550	1,037,432
退職給付に係る負債	319,672	323,359
役員株式給付引当金	83,933	89,605
資産除去債務	600	600
その他	48,391	48,124
固定負債合計	1,805,149	1,499,121
負債合計	7,514,735	7,663,927

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,034,000	1,034,000
資本剰余金	1,059,147	1,059,147
利益剰余金	37,009,623	37,649,360
自己株式	△790,463	△790,463
株主資本合計	38,312,308	38,952,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308,713	2,556,924
為替換算調整勘定	278,415	453,022
退職給付に係る調整累計額	73,750	69,680
その他の包括利益累計額合計	3,660,879	3,079,627
純資産合計	41,973,187	42,031,672
負債純資産合計	49,487,923	49,695,599

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	5,522,451	6,800,563
売上原価	3,672,192	4,823,830
売上総利益	1,850,258	1,976,733
販売費及び一般管理費	743,980	744,571
営業利益	1,106,278	1,232,161
営業外収益		
受取利息	2,270	3,376
受取配当金	78,550	118,287
不動産賃貸料	18,551	18,235
為替差益	14,406	11,226
その他	11,113	28,586
営業外収益合計	124,892	179,712
営業外費用		
支払利息	1,781	1,658
賃貸収入原価	8,708	8,589
その他	1,776	2,154
営業外費用合計	12,266	12,402
経常利益	1,218,903	1,399,471
特別利益		
固定資産売却益	363	-
特別利益合計	363	-
特別損失		
固定資産除却損	10,653	22,678
特別損失合計	10,653	22,678
税金等調整前四半期純利益	1,208,614	1,376,792
法人税等	364,390	414,256
四半期純利益	844,223	962,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	844,223	962,536

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	844,223	962,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△353,534	△751,789
為替換算調整勘定	58,432	174,606
退職給付に係る調整額	△3,799	△4,070
その他の包括利益合計	△298,901	△581,252
四半期包括利益	545,322	381,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	545,322	381,283
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これにより、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,616,564	905,887	5,522,451	—	5,522,451
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,616,564	905,887	5,522,451	—	5,522,451
セグメント利益	1,029,931	252,805	1,282,737	△176,459	1,106,278

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,459千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社本社での総務部等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	薬品事業	建材事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,858,798	941,765	6,800,563	—	6,800,563
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,858,798	941,765	6,800,563	—	6,800,563
セグメント利益	1,190,854	235,603	1,426,457	△194,296	1,232,161

(注) 1. セグメント利益の調整額△194,296千円は、報告セグメントに帰属しない提出会社管理本部等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	3,816,860	905,887	4,722,748
海外	799,703	—	799,703
計	4,616,564	905,887	5,522,451

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		
	薬品事業	建材事業	計
主たる地域市場			
国内	4,536,972	941,765	5,478,737
海外	1,321,826	—	1,321,826
計	5,858,798	941,765	6,800,563